

### 【3】志望理由書の書き方について

学校推薦・総合型選抜等での入試を受ける人は、次のような書類を自分で書かなければなりません。

#### ◆なぜ「志望理由」が聞かれるのか？

大学や企業は、なぜあなたに「志望理由」を聞くのでしょうか？

それは、意欲のある学生を選びたいからです。動機がしっかりした人には、意欲がある。学校・企業は、追跡調査等によって、意欲がある人は「学校に来てよい学問をする、職場に来てよい仕事をする」と知っています。ですから、志望理由を書くにあたっては、細かいことよりも、まず、読んだ人にあるあなたの意欲が伝わるのが大事です。

#### ◆こんな志望理由書は通用しない！

- ・ 英語が好きだから外国語学部で学びたい。
- ・ 子供が好きだから保育士になりたい。
- ・ 人とかかわることが好きだから接客業に就きたい。

志望理由が「好きだから」は当たり前すぎます。嫌いな人はその進路を選びません。あなたを選考する人（大学の教授や企業の人事担当者）が「この人を選びたい」と思うような志望理由書を書かなければなりません。

#### ◆よい志望理由書を書くためには

##### （1）自分自身について考える

選考する側を納得させるには、自分の具体的な経験を述べなければなりません。今まで生きてきた中で、自分を振り返って、その学部・学科、仕事を目指すきっかけとなった「経験」を人に説明できるようにしておきましょう。

ポイントは、事実と考察の二段構えで説明することです。

- × 事実：小学2年のとき、このような尊敬できる先生に出会った。  
→だから教師を目指したいと教育学部を選んだ。

これでは読み手は納得しません。事実から、あなたがどう感じ、何を考えたのか？

- 事実：小学2年の時、このような尊敬できる先生に出会った。  
→考察：そこから私は、教育についてこう考えた。  
→だから私は、教師を目指したいと教育学部を選んだ。

というように、考察のところでは、できるだけ「キーワード」を提示するようにしてみてください。

##### （2）行きたい学部・学科、就きたい仕事について考える

たとえば「法学部に行きたい」という気持ちだけあって、法学部では具体的に何を、どんなふうに学んでいくのかを、そもそも知らない、調べていない、という人が多くいます。志望理由を書くときにまずく人の多くは、具体的なことを知らないのが原因です。知らないことに意欲はわきません。逆に、知れば知るほど興味は出てきます。

行きたい学部・学科、就きたい仕事の内容については、

- ・パンフレットやインターネットで調べる。
- ・オープンキャンパスなどで、先輩や先生に直接聞く。
- ・職場見学、就職相談会などで、企業の担当者に直接聞く。
- ・過去の小論文の入試問題を読む。（他の学校の志望学部の出題でも効果がある）

などの方法で調べ、人に説明できるようにしておいてください。ここでは、自分で行動を起こし、実際に調べることが大切です。「調べた」という行動が、熱意や説得力となって文章に表れます。

### （3）現在の社会について考える

たとえば、教育学部を目指すのなら、「教育」や「子ども」をめぐって、今の社会はどうなっているのか？経済学部を目指すのなら、日本の経済は今どうなのか？国際社会はこれからどうなっていくのか？などを考えておくことが必要です。

志望学部のメインテーマ、仕事（志望職種）の分野をめぐって、今の日本社会、あるいは世界をみたとき、どうなっているのか？授業や本、新聞から得た知識も総動員して、次の3つを大まかでいいので、言えるようにしてください。

- ・何がいちばん問題なのか？（現状の問題点）
- ・なぜ、そのような問題が起こっているのか？（原因・背景）
- ・理想の社会が実現できるとしたら、どうあればいいか？（ビジョン）

### ◆ **自分の意志を示す**

以上、①きっかけとなった自分の経験、②学部・学科あるいは仕事の具体的な内容、③テーマをめぐる現代社会認識の3つがそろったら、そこから「未来に向けて自分はどうしたいか？」という自分の「意志」を示してください。

- ・このようなことを学びたい。
- ・このような仕事をしたい。
- ・人や社会にこのように貢献したい。

というように、何をどうしたいか、具体的に示すのです。

### ◆ **なぜ、そこを選んだのか？**

広い視野で考えながら、自分の意志を語れるようになったら、次に先方の学校や会社が気になるのは、「なぜ、うちに？」ということです。

他にもたくさん学校や企業がある中で、なぜ、そこを選んだのか？

ポイントになるのは、相手のものの見方・考え方です。つまり、大学等であれば教育方針（アドミッション・ポリシー）、企業であれば事業方針や理念がポイントになります。

- ・相手側はどんな方針・理念を持っているか？
- ・方針・理念を具体化する、どんな事例があるか？どんな人材が必要とされているのか？
- ・自分はその方針・理念の、どこにどう共感するのか？

これも、自ら行動を起こして、調べておく必要があるでしょう。

## ◆志望理由書等の例Ⅰ

### 〇〇大学 <公募推薦志望理由書>

<〇〇大学のアドミッション・ポリシー>

〇〇大学は、「自由・平和・ヒューマニズム」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」という教学理念のもと、多くの国・地域から多様な学生を集め、異なる言語や文化を互いに交流し、多様な価値観を受容し、国際的な視野と異文化コミュニケーション能力を備えた人材の育成を使命としている。この使命を実現するために、「21世紀の国際社会においてアジア太平洋地域のリーダーとして活躍する意欲と志のある多様な学生を国内・国外から獲得すること」を方針とする。

私はツアーコンダクターになるために、貴学の観光学科で学びたいと考えています。ツアーコンダクターをめざしている理由は、人一倍好奇心が強く、身体を動かすことが大好きな私にぴったりの仕事だと思うからです。また、両親が旅行好きで、幼い頃から夏休みや冬休みに日本各地に出かけていたこともあり、いつしか日本だけではなく、海外のさまざまな国に行ってみたい、感動したいと思うようになりました。そして、その感動を大勢の人と分かち合い、**国際相互理解**を促すきっかけにしたいのです。そのために私は、自分で旅を企画して、素晴らしい観光ポイントや宿泊施設を見つけ、参加してくれる多くの人々に旅の喜びを提供できるようなツアーコンダクターになろうと考えています。

貴学の観光学科を志望したのは、「自由・平和・ヒューマニズム」という理念のもと、幅広く観光や文化について学べる講義を設けているところに魅力を感じたからです。**21世紀の国際社会においてアジア太平洋地域のリーダーとして活躍する人材の育成のために、海外で観光について学べる留学プログラムも充実しています。**貴学でなら、きっと私が望むことが学べると確信しています。

もし貴学に入学することができたなら、私はできるだけたくさんの講義を受けることはもちろんですが、アルバイトやクラブ活動にも積極的に挑戦して、人とふれあうことを学び、将来**アジア太平洋の未来創造**に携わるツアーコンダクターとなったときに、それらの経験を生かしたいと思います。

←どんなことを身につけたいのかを書くといいでしょう。

←「ツアーコンダクターになりたい」というならどうしてなりたいと思うのか過去の体験などを入れて書きましょう。

←どんな仕事をするツアーコンダクターになりたいのか、それによってどんな将来を思い描いているのかを書きましよう。

←アドミッション・ポリシーのキーワードを入れる。

←入学を許可された場合にはどんな学校生活を送ろうと思っているか、努力目標的な終わり方がよいでしょう。

## ◆志望理由書等の例2

### 〇〇大学 <公募推薦志望理由書>

<〇〇大学〇〇学部管理栄養学部のアドミッション・ポリシー>

〇〇大学は、「自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任のもとに行動できる人材の育成」を教育理念に掲げている。このような教育理念のもと、この大学の管理栄養学科では実習の施設を充実させ教育活動を行っている。入学者には、「栄養や保健、医療の分野で多様化した様々な問題を解決するために思考力・判断力・表現力を活用し、主体的かつ柔軟に取り組む意欲ある人」を求めている。

私は管理栄養士になるために、貴学で栄養学を学びたいと考えています。

私が栄養学に興味を持ったのは、高校2年生の時でした。私は部活動をしており、練習後は空腹を満たすため、お店で好きな物を買って食べることが習慣になっていました。ところが、そんな毎日続けるうちに体調を崩してしまい、食生活の大切さを改めて気づかされました。私のような例は、決して珍しいものではないはずです。日本は世界一の長寿国ですが、国民全員が健康であるとは言えません。便利になった反面、偏食や個食などによって食生活が乱れ、生活習慣病が深刻化しています。そこで近年、生活習慣を改善し健康を維持するための「予防医学」が注目されています。

私はこの「予防医学」を世の中に広めるためにも、貴学の栄養学科で栄養学の知識を習得し、管理栄養士の資格を取りたいと考えています。貴学は、地域の食育に貢献している一流の先生が多く、大学病院並みの給食実習室など、学内の設備もトップクラスです。このようなすばらしい環境で学ぶことで、よりしっかりと栄養学の知識を身につけることができると確信しております。

貴学において、栄養学の知識を身につけたあとは、より多くの人たちに、「予防医学」、そして栄養の大切さを伝えることのできる管理栄養士になりたいと思っています。

←学びたいと思ったきっかけ（印象に残っている出来事など）や、自分の適性（特技や体験）から、具体的な理由を書きましょう。

←今の社会が抱えている課題に、自分が学びたいことがどのように関わっているのか述べよう。課題解決のために、何ができるのかについて述べられるとなおよい。（アドミッションポリシーに絡めて述べる）

←志望校のカリキュラムや学べる内容などをもとに、自分は志望校でどのように学びたいのかを具体的に述べよう。自分のやりたいことを実現するためには、どうしてもその学校でなければならぬことをアピールできれば、説得力がアップします。